

下地島空港消防及び施設点検業務委託（R 8）
仕様書

令和 8 年度

沖縄県下地島空港管理事務所

第1 一般事項

当該業務の遂行に当たっては、法令、条例、契約書、本仕様書、下地島空港管理事務所制定の空港機能管理規程等に基づき実施しなければならない。

1 委託業務の名称

下地島空港消防及び施設点検業務委託（R8）

2 委託業務の場所

下地島空港地内

3 委託期間

令和8年4月1日から令和9年3月31日

4 目的

下地島空港及びその周辺での航空機事故の発生に備えるとともに、発生時においては迅速かつ的確な消火救難業務を遂行する。

また、下地島空港における航空機へのバードストライク等、鳥獣に起因する航空機への脅威低減のため対策を行う。

5 委託の範囲

- (1) 空港消防業務及び消防車両並びに消防設備維持管理業務
- (2) 空港施設点検業務
- (3) 鳥獣対策業務

6 委託業務遂行能力の保有

受注者は、空港における上記5(1)～(3)の特性を十分に理解し、且つ空港消防車両の運転や操作及びその維持管理技能、猟銃の取り扱い等、受託後直ちに委託業務を実施する能力を保有していること。

7 下地島空港制限区域内への立入等

下地島空港管理事務所長が定める下地島空港制限区域内への立入（国際線SRA区域への立入を含む。）については、下地島空港制限区域内安全管理規程及び下地島空港保安全管理規程に定める条件を満たした上で、下地島空港管理事務所長の許可を得なければならない。

また、同区域内での車両の運転についても、下地島空港制限区域内安全管理規程に定める条件を満たし、且つ同規程に定める試験に合格した上で、下地島空港管理事務所長の許可を得なければならない。

8 下地島空港制限区域内での下地島空港運用時間内の作業制限

- (1) 航空機走行区域(滑走路、着陸帯、誘導路)への立入は、無線にて管制官の許可(RAG 時間帯においては下地島空港管理事務所の許可)を得なければならない。
- (2) 緊急時以外に制限区域内で作業を行う場合は監督者と調整すること。
- (3) 猟銃によるバードスイープを行う場合は、周囲の安全を十分に確認すること。必要がある場合は、制限区域内で実施される作業等の実施業者等と調整を行うこと。

9 その他

- (1) 災害(台風、洪水、地震等)や事故等の緊急事態が発生、若しくは発生しうると下地島空港管理事務所長が判断した場合は、下地島空港管理事務所との連絡を密にし、万全の対策をとるものとする。
- (2) 本空港は塩害が著しいので、日頃から点検手入を綿密に行い、錆が発生しないよう努めること。
- (3) 業務の履行にあたりその内容を十分に理解し、且つ遵守しなければならない規定等は次のとおり。
 - ア 下地島空港機能管理規程(セイフティ編)
 - イ 下地島空港機能管理規程(セキュリティ編)
 - ウ 下地島空港消火救難業務処理規程
 - エ 台風対策要領
 - オ 下地島空港消火救難隊に関する協定
 - カ 下地島空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定書
 - キ 下地島空港医療救護活動に関する協定書

第2 特記事項

- 1 本委託業務で実施する業務は次のとおりである。なお、これらの業務の実施において何らかの異常を発見した場合は、直ちに監督員に報告すること。
 - (1) 空港消防通常業務
 - (2) 空港消防緊急業務
 - (3) バードスイープ業務
 - (4) 空港施設点検業務
 - (5) 消防車両及び消防施設等の保守管理
 - (6) 記録簿・報告書の作成
 - (7) その他監督員の指示する業務
- 2 遂行にあたっての注意事項
 - (1) 法令、条例、規則等の遵守
業務に関連する法令、条例、規則等を遵守し、必要な場合には届出、承認、許可等の手続きを遅滞なく完了することとし、これに要する費用は全て受注者の負担とする。
 - (2) 疑義の解釈
本仕様書に疑義がある場合は受注者で解釈してはならず、必ず監督員の指示を仰ぐこと。
 - (3) 軽微な変更等

工程、作業員の配置、車両の運用等の必要に応じ変更される業務、又は軽微な変更で本仕様書に明示されていなくとも本委託業務を遂行するにあたり当然実施しなくてはならない業務は、監督員の指示に従って実施すること。この場合において本委託業務契約金額の変更は原則として行わないものとする。

(4) 使用材料

本委託業務で使用する材料器具類は全て良質完全なもので、原則として JIS、その他法令で定められた規格に適合すること。また、原則として原材料にアスベストを含んだ材料器具類を使用しないこと。

(5) 空港施設への注意

本委託業務の遂行において空港施設を損傷しないよう十分に注意し、万が一損傷した場合は直ちに監督員に報告し、監督員の指示に従い受注者の責任において原状に修復すること。

(6) 物品の購入及び車両消耗部品について

本委託業務に含まれる物品等については次のとおり。なお、バードスイープに用いる猟銃及びその管理に必要な設備等については受注者にて用意すること。

ア ウェス、潤滑油、グリース、洗油、ロープ、養生シート、燃料、アドブルー、消防車両等の消耗部品、事務用品など本委託業務を行うのに必要な物品及び消耗品

イ 車両、脚立、テストハンマー、工具、猟銃、計測機器等の機材の損料

ウ 消防車両等に係る車検点検、定期点検及び任意保険に要する経費

(ア) 自動車継続検査：化学消防車 1 号車、医療資器材車、

(イ) 三ヶ月点検：化学消防車 1 号車（年 3 回）、化学消防車 2 及び 3 号車（年 4 回）、
医療資器材車（年 3 回）

(ウ) 十二ヶ月点検：消防指令車（年 1 回）

(エ) 任意保険：化学消防車 1、2 及び 3 号車、医療資器材車、消防指令車

エ 医療資器材の整備に要する経費

(7) 委託業務内容の変更について

次のいずれかを実施する場合は、発注者と協議のうえこの契約の内容を変更することができる。また、購入後の物品等については、監督員の指示に基づき適切に管理すること。

ア 下地島空港管理事務所からの指示による勤務時間の延長

イ バードスイープに用いる実弾、消火薬剤等の購入

ウ 消防車両の臨時のメーカー点検

エ 緊急性がある本委託業務の遂行に必要な物品の購入又は消防車両等の修繕

オ その他、発注者が必要と認める業務

(8) 消防局舎について

火気や危険物の取扱は各種法令を遵守し十分に注意し取り扱うこと。また、局舎内は常に清潔を保つこと。

3 業務の報告

(1) 業務に関する報告書は次のとおりとし、その様式は監督員の指示に従うこと。

- 【日報】 ア 飛行場点検表
 イ 消防業務日誌
 ウ バードスweep実施時の鳥分布確認状況
- 【月報】 エ 消防訓練予定表
 オ 勤務予定表
 カ 車両日常整備記録簿
 キ 有害鳥獣類駆除報告書
 ク 体力測定記録表
- 【適宜報告】 ケ 消防訓練記録表
 コ 防火水槽点検表

※ア～ウは翌日午前 9 時までに提出すること。

※エ及びオは翌月分を月末までに提出すること。

※カ～クは当月分を翌月初日に提出すること。

※ケ及びコは実施日の翌日午前 9 時までに提出すること。

(2) その他監督員の指示に基づき、上記以外の報告書や資料等を提出すること。

4 検査

受注者は、業務の結果について発注者の指定した者が行う検査に合格しなければならない。

5 技能向上

本委託業務の遂行に支障の無い範囲で技能向上のための訓練に努めること。

6 保険等

- (1) 受注者は雇用保険法、労働者災害補償保険法、健康保険法及び中小企業退職金共済法の規定により、雇用者等の雇用形態に応じ、雇用者等を被保険者とするこれらの保険に加入しなければならない。
- (2) 受注者は、雇用者等の業務に関して生じた負傷、疾病、死亡及びその他の事故に対して責任をもって適切な補償をしなければならない。

7 その他

- (1) 必要に応じて業務連絡会議を行うものとする。(記録運営については受注者が担当すること)
- (2) 航空機事故消火救難総合訓練等の下地島空港で実施される訓練に参加すること。

第3 作業基準

- 1 勤務時間及び人員の配置は次のとおりとし下地島空港内の消防局舎内にて勤務する。ただし航空機の運航状況により管理事務所から受注者に勤務時間の延長を指示する場合は、受注者はその指示に従わ

なければならない。また、下地島空港管理事務所からの指示により勤務時間を延長する場合は変更契約の対象とする。

なお、本委託業務には年2回の出勤所要時間測定に要する費用を含むものとする。

- | | | |
|--------------------|-----|--------------------------------|
| (1) 消防隊長 | 1 人 | <u>7:30~19:45 (12 時間 15 分)</u> |
| (2) 消防隊員 | 4 人 | <u>7:30~19:45 (12 時間 15 分)</u> |
| (3) 消防隊員兼バードスイープ要員 | 1 人 | <u>7:30~19:45 (12 時間 15 分)</u> |

2 受注者は次の者を選任し監督員へ報告すること。

- (1) 消防隊長
- (2) 消防隊長代理 ※消防隊長代理は必要に応じて複数名を選任できるものとする。

3 勤務時間及び勤務日数については労働関係法等を遵守し、交代勤務により対応してもよい。ただし、交代勤務により消防隊長が不在となる場合は、消防隊長代理がその職を代行できるようにすること。

4 勤務時間中は訓練等の必要な場合を除いて下地島空港外へ出てはならない。

5 空港消防通常業務

空港消防通常業務とは、空港消防業務に従事する消防職員が、空港消防庁舎及びその他で行う日常の業務であり、その業務は「下地島空港消火救難業務処理規程(Ⅱ) 空港消防通常業務」により遂行するものとする。

6 空港消防緊急業務

空港消防緊急業務とは、下地島空港及びその周辺において、航空機事故、火災、その他の災害が発生した場合又は、発生するおそれがある場合に行うべき対応等であり、その業務は「下地島空港消火救難業務処理規程(Ⅲ) 空港消防緊急業務」により遂行するものとする。

7 空港施設点検業務

- (1) 空港運用時間前(7:30~8:00)に、下地島空港管理事務所職員とともに滑走路、誘導路、エプロンの点検を行うこと。
- (2) 日没前に、訓練中もしくは空港を離発着する航空機に支障のない方法で、滑走路、誘導路、エプロンの点検を行うこと。
- (3) バードストライク等、滑走路等の点検要請がある場合は直ちに対応すること。
- (4) バードストライク発生に伴う鳥回収は、日時、航空会社名、発生位置、鳥名とともに回収した鳥を撮影し監督員へ報告すること。

8 鳥獣対策業務

- (1) 下地島空港制限区域内における野生動物の出現状況を常に把握し監督員に報告すること。
- (2) 次のとおりバードスイープ業務を行うこと。

- ア 実施時間は 8:00 から 19:30 までとする。
- イ 実施時間中は、常にバードスイープ要請に対応できるようにしておくこと。
- ウ 必要に応じ着陸帯付近にバードスイープ要員を配置すること。
- エ 上記ウの配置中に滑走路及び誘導路等の点検要請がある場合には、速やかに対応すること。
- オ バードスイープは、有効な「猟銃狩猟免許」を保持し、有効な「銃器所持許可」と「鳥獣等及び鳥類の卵の採取等の許可」を得た者のみが猟銃をもって行うこと。
- カ 銃砲刀剣類所持等取締法、鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律、火薬類取締法等の関係法令を遵守し、猟銃並びに実弾については厳重に管理すること。

9 消防隊員の訓練

- (1) 緊急事態に対応できるよう日頃から体力の維持管理、訓練に努めること。
- (2) 体力管理のため月 1 回体力テストを行い、結果について監督員に報告すること。
- (3) 技術研修、講習会を積極的に受講し、消防業務の習熟に努めること。
- (4) 緊急事態を想定した自主的な訓練を計画し、監督員の承諾を受け、実施すること。
- (5) 発注者の主催する航空機事故消火救難総合訓練の計画・実施について、積極的に参加、提案、協力すること。

10 その他

- (1) 仕様書及び特記仕様書に記載されていない事項は、「空港における消火救難体制の整備基準」（最終改正：令和 2 年 12 月 15 日 国空空技第 242 号）によるものとする。
- (2) 消防車両や、消火救難資機材の不具合や故障が発生したときは直ちに監督員へ連絡すること。
- (3) 業務に必要な物品等は別表のとおり県が貸与する。汚損等がないよう適切に管理すること。

貸与物品一覧表		
業務名	下地島空港消防及び施設点検業務委託（R8）	
No	物品名	数量
1	化学消防車	3
2	消防指令車	1
3	ルームエアコンS563ATEP-WE	1
4	磁石式電話機	1
5	無線機	13
6	散光式警光灯（青色）	1
7	酸素吸入救急医療セット	1
8	空気膨張式テント3式	1
9	二折分離式担架ブレイクアウェイポールストレッチャー	30
10	ポールストレッチャー	38
11	減圧式固定担架	3
12	ハイテクバックボード	3
13	携帯心電計	1
14	災害用多人数用酸素吸入器	1
15	人工蘇生器セット	3
16	手動蘇生器セット	3
17	携帯用吸引器	1
18	充電式パワーカッター	1
19	パワーソースキット	1
20	特殊防かい	6
21	普通防かい	6

※ 1 件の取得見積価格 3 万円以上は備品（会計事務の手引き参照）